

「HD-PLC」を利用したネット簡単接続、スマートグリッドへの取り組みなどを紹介

HD-PLCアライアンス<sup>(注1)</sup>が 2010 International CESに展示ブースを設置

高速電力線通信「HD-PLC」<sup>(注2)</sup>のグローバルな普及拡大と、「HD-PLC」を採用した製品間での通信互換性の一層の向上を目指すHD-PLCアライアンスは、2010年1月7日から10日まで米国ラスベガスのコンベンションセンターで開催される世界最大規模のコンシューマーエレクトロニクスショーである2010 International CESに、昨年につき今回もHD-PLCアライアンス展示ブースを設置します。

本ブースでは、各電気機器に組み込むことで高速電力線通信を可能にする「HD-PLC」モジュール、専用チップ及び開発環境を紹介、またHD-PLCアライアンス会員企業及び「HD-PLC」採用企業の出展協力を得て、各社からPLCアダプターやPLCルーター、ハブおよびPLCを内蔵または利用することで便利になる様々なPLC応用機器50品目余を出展します。

- PLC内蔵HDMI変換器、H.264Codec搭載映像伝送装置、セットトップボックス、
- PLC内蔵USB変換器
- デジタルサイネージ表示装置
- PLCアダプター、PLCルーター、ハブ
- 「HD-PLC」組込用モジュール、専用チップ
- ノイズフィルタ、電源タップなどPLC用アクセサリ機器
- 開発環境、「HD-PLC」検証ハウスの紹介

特に今回は、「HD-PLC」を活用したネットへの簡単接続、簡単設定など利便性向上の事例紹介のみならず、HD-PLCアライアンスが進めている地球温暖化対策に向けた「グリーンユビキタス」<sup>(注3)(注4)</sup>構想に基づく取り組みの一例として、将来に向けた家庭のスマートエネルギー、スマートグリッドへの取り組みについて紹介いたします。PLCの利便性を利用して電力測定とその情報収集をネットワーク経由で行い家庭電気機器の電力使用量の「見える化」を実現する「電力モニタリングシステム」(参考出品)、家庭と屋外との電力系情報をつなぐスマートグリッド向け「光/PLCブリッジ装置」「電力メータマルチプレクサ」(ともに参考出品)などの応用サンプルを展示し、さらに自家発電装置、電気自動車など今後家庭への急速な普及が見込まれる新しい電気機器環境、エネルギー環境に対応するための電力スマート化、家庭及び地域の電力エネルギー使用を効率化するスマートグリッドなど、電力系情報と従来の家電IT系情報との融合に「HD-PLC」を利用する今後の応用事例について、「HD-PLC」の利便性や将来展開の可能性が実感できるデモンストラーションを交えてわかりやすく紹介します。また、ブースにおいて連日、当ブース出展各社によるミニ技術セミナーを開催し、各社の「HD-PLC」を利用した特色ある応用製品サンプルやソリューション事例の紹介を行う予定です。

加えて、「HD-PLC」のグローバル展開についても紹介いたします。当アライアンスは高速PLCの世界的な標準規格化を目指してIEEE P1901委員会<sup>(注5)</sup>において、「HD-PLC」で使用しているWavelet OFDM方式<sup>(注6)</sup>の採用にむけて活動貢献してまいりましたので、同委員会の標準化動向及び成果について紹介いたします。また、中国のネットワーク標準化団体IGRS<sup>(注7)</sup>とのアライアンス活動紹介の一環として、IPTVのネット接続に「HD-PLC」を利用した映像伝送デモを、本ブース及びIGRSブース(サウスホール3 #30363)において相互に展示します。

HD-PLCアライアンスは、今後も展示会やセミナー等を通じて日本国内はもとより全世界に向け「HD-PLC」のグローバルな普及活動を積極的に行なってまいります。

## 【2010 International CES の概要】

展示会名	2010 International CES
会 期	2010年1月7日(木)～1月10日(日)
場 所	米国 ネバダ州 ラスベガス市 ラスベガスコンベンションセンター など
主 催	The Consumer Electronics Association (CEA: 全米家電協会)
ブース場所	サウスホール 1 #20662
主な出展内容	「HD-PLC」搭載および応用商品各種

・2010 International CESに関する詳細は、公式ホームページ (<http://cesweb.org/>) をご覧ください。

・HD-PLCアライアンスブースの詳細は、(<http://myces.bdmetrics.com/CDT-6278359/HD-PLC/Details.aspx>) をご覧ください。

注1. HD-PLCアライアンス: 高速電力線通信「HD-PLC」の普及拡大・通信互換性確保を目的として、2007年9月25日に設立されたものです。(ホームページ: <http://www.hd-plc.org/>)

注2. 「HD-PLC」: 「HD-PLC」は、パナソニック株式会社が提唱する高速電力線通信方式の名称であり、パナソニック株式会社の日本及びその他の国での登録商標もしくは商標です。

注3. 「グリーンユビキタス」とは、既存の電力線を使い、省資源・省エネ型のネットワークを利用して、さまざまな機器を簡単、快適につなぎ、暮らしやビジネスを、より便利に豊かに変えながら、地球環境にも配慮する、HD-PLCアライアンスが推進・提唱している基本コンセプトです。

注4. 「グリーンユビキタス」は、パナソニック株式会社の商標です。

注5. IEEE P1901委員会: これまで、イーサネットLANや無線LANに代表される多くの世界的な標準規格化を成功させ、世界の通信業界の発展への大きな貢献で、世界的に認識されている規格策定機関である米国電気電子学会(IEEE: Institute of Electrical and Electronics Engineers)傘下の標準化委員会で、P1901作業部会として、2005年6月にプロジェクトが発足。同部会では、宅内、屋外、共存に加え、輸送機用の通信方式を策定中です。

注6. Wavelet OFDM方式: 周波数利用効率が非常に高い直交周波数分割多重=OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)を採用し、各サブキャリアの直交化にWavelet変換を適用して、高効率な高速データ通信を実現するパナソニックの独自技術です。Wavelet OFDMは、周波数領域および時間領域に直交性を備えた結果、冗長信号なしに各サブキャリアのサイドロープレベルを低減しています。

注7. IGRS: インテリジェントグルーピングアンドリソースリングシェアリング(情報設備資源共有共同サービス標準化グループ)。2003年7月中国国家情報産業部(MII)によって設立。発起人: Lenovo、TCL、Konka、Hisense、GratWall(いずれも中国企業)。企業、公共场所、個人及び家庭が利用する情報設備の相互接続において、共通の資源記述及び機能サービスインターフェース規格に従って、設備の有効な資源共有及びサービス共同を実現し、ユーザーに最新の応用体験を提供推進する団体。

## 【お問い合わせ先】

HD-PLCアライアンス事務局

三宅、宮崎

電話: 092-477-1671

Eメール: [hd-plc\\_alliance@ml.pcc.jp](mailto:hd-plc_alliance@ml.pcc.jp).panasonic.com

HD-PLCアライアンスのホームページ

<http://www.hd-plc.org/>

HD-PLCアライアンスが運営する「HD-PLC」マガジンホームページ

<http://hd-plcmag.com/>